

1. 従業員ニーズ調査報告書

厚生労働省が「平成 26 年度仕事と介護の両立支援事業」において作成したアンケートを一般従業員 全 43 名に実施した。(回収 43 名)

- ・男女比：男 3 名 女 40 名
- ・年齢：20 代 32 名、30 代 11 名 計 43 名

調査内容

○介護に関する状況

- ・介護経験者 5 名 (うち現在介護している人 0 人)
- ・介護未経験者 38 名

○今後 5 年間のうちに、介護する可能性

- ・介護する可能性がかなり高い 4 名
- ・介護する可能性が少しある 9 名
- ・介護する可能性はない 30 名

○どの程度不安を感じるか (介護する可能性があるとは回答した人)

- ・非常に不安を感じる 3 名
- ・不安を感じる 5 名
- ・少し不安を感じる 5 名

○介護をしながら、現在の勤務先で仕事を続けることができるか (介護する可能性があるとは回答した 13 名が対象)

- ・続けられる 0 名
- ・続けられない 10 名
- ・わからない 3 名

○介護について職場の上司、同僚に相談できる雰囲気があるか
(介護する可能性があるとは回答した 13 名が対象)

- ・ある 7 名
- ・ない 3 名
- ・どちらともいえない 3 名

○介護することになった場合、どのような働き方が望ましいか

- ・介護に専念すると回答した人 4 名
- ・支援制度を利用しつつ仕事と介護を両立すると回答した人 30 名
- ・休業して復帰する・その他と回答した人 9 名

○公的介護保険制度について

- ・知らないとは回答した人 25 名

○地域包括支援センターについて

- ・利用方法を知っている・名称は聞いたことがあるが利用方法を知らない 5 名
- ・名称も利用方法も知らないとは回答した人 38 名

○勤務先の介護に関する支援制度について

- ・制度を知っていると回答した人 1 名
- ・制度があるかどうか知らないとは回答した人 25 名
- ・制度はないとは回答した人 17 名

○介護休業に対する考え方

- A: 介護休業期間は主に仕事を続けながら介護をするための体制を構築する期間である
- B: 介護休業期間は介護に専念するための期間である

- ・A と回答した人 12 名
- ・B と回答した人 25 名
- ・どちらともいえないとは回答した人 6 名

仕事や職場状況について

○職場の残業の程度について

- ・恒常的・週に半分の残業があると回答した人 11名
- ・おおむね定時退社と回答した人 27名
- ・その他と回答した人 5名

○年次有給休暇について

- ・希望通り・だいたい希望通りとれたと回答した人 25名
- ・希望通りとれなかったと回答した人 8名
- ・どちらともいえないと回答した人 10名

○職場のコミュニケーションについて

- ・上司とのコミュニケーションは円滑と回答した人 34名
- ・同僚や部下とのコミュニケーションは円滑と回答した人 40名

2. 調査結果からの課題

現在介護中の社員はいないが、これまでに介護経験があった社員が数名おり、今後5年間のうち介護の可能性があると答えた社員は数名、不安を抱えていると答えている。従業員の7割が20代ということもあり、介護の関心・制度・地域包括支援センターなどに関する知識はあまりないことが判明。介護することとなったときの働き方は支援制度を利用しつつ仕事と介護を両立すると回答した人が最も多かった。今後、介護の社員がいたときに両立できるように短時間勤務など社内での取り組みが必要。